

# 厚生労働省委託事業 がん対策推進企業アクションからの 大切なお知らせ

平成9年度～19年度生まれの女性の方へ  
HPVワクチンの接種を無料で受けるには  
1回目の接種を今年9月末までに

## ポイント

HPVワクチンは6か月で3回打つ必要があります。キャッチアップ接種は、平成9年度から19年度生まれで、HPVワクチンの接種機会を逃した女子が対象ですが、**2025年3月末で”救済措置”は終わりますので、3回全てを無料で受けるには、今年9月末までに初回接種を終えなければなりません。**そうでないと、来年4月からは自己負担になり、8～10万円程度かかるので、是非、今年度内に3回接種を！

## キャッチアップ対象者

H9年度生まれ～  
H19年度生まれの女子11学年  
(1997年4月2日～2008年4月1日生まれ)

H19年度生 H18年度生 H17年度生 H16年度生 H15年度生 H14年度生  
H13年度生 H12年度生 H11年度生 H10年度生 H9年度生

子宮頸がんはワクチンと検診で無くしましょう

接種にはご家族のご理解や後押しが大切です。  
まずは知ってください、ワクチンのこと。

子宮頸がんはHPV（ヒトパピローマウイルス）への感染が原因です。HPV9価ワクチンを接種することで、子宮頸がんの約9割を予防する効果があり、がんになるリスクを大幅に減らすことができます。また、**ワクチン接種後に報告される症状の頻度は1万人に対して約3人（0.03%）**と、とても低い値になっています。2021年11月15日に開催された厚生労働省の専門家会議においても、**安全性について特段の懸念が認められないことが確認され**、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められました。接種対象年齢が若年であるがゆえに、相談を受けるご家族の正しい理解が重要です。

厚生労働省のリーフレットも併せてご覧ください。

